

『三譯総解(第四)』ハンゲル表記満洲語文語索引*

王 海波
(嶺南師範学院)

キーワード: 『三譯総解』、ハンゲル表記、満洲語文語

1. はじめに

朝鮮時代の司譯院は、外交通訳を担うと同時に、外国語教育機関としても機能していた。ここには漢学・倭学・蒙学・女真学の四学が置かれ、満洲人の入関後には女真学が清学へと改められた。現存する清学書としては、読本類の『八歳兒』・『小兒論』・『三譯総解』・『清語老乞大』と、辞書類の『同文類解』・『漢清文鑑』が挙げられる(小倉 1914a: 44-45; 1914b: 257-262; Lie 1972: 19-21; 邵磊 2011: 290)。

清学書におけるハンゲル表記の満洲語文語は、必ずしも満洲文字で書かれた満洲語文語を一对一で転写したものではない。例えば、満洲語文語の CVwV (C=子音、V=単母音または二重母音) に相当する語形が、ハンゲル表記では1音節で書かれる場合もあれば、2音節で書かれる場合もある。また、満洲語文語の e に対応するハンゲル表記や io に対応するハンゲル表記などにも、それぞれ複数の対応形式が見られる。ハンゲル表記の満洲語文語は、満洲文字では表しきれない発音上の細部を、ある程度反映している可能性がある。清学書における満洲語文語の満洲文字表記とハンゲル表記の対応関係に関する研究としては、池上(1951; 1954; 1963)、今西(1958)、성백인(1984)、岸田(1989)、Ikegami(1990)、崔宰宇(1997)、菅野(2005)、邵磊(2011; 2016)、和田(2013)、王敵非(2013)、邵磊・多麗梅(2022; 2023)、邵磊・金龍軍(2022)、邵磊・林茶英(2022)、邵磊・王敵非(2022)、邵磊・任國俊(2023)などが挙げられる。

満洲文字とハンゲルの表記対応の問題を検討するには、ハンゲルで記された満洲語文語の語を、対応するメレンドルフ式転写にもとづいて配列し、整理する作業が有効であると考えられる。そこで本稿では、清学書『三譯総解』(全十卷)の第四卷(『三譯総解(第四): 諸葛亮計伏周瑜』)にあるハンゲル表記の満洲語文語の語について、メレンドルフ式転写にもとづき索引を作成する。

2. ハンゲル表記満洲語文語の索引

次表は、清学書『三譯総解(第四)』におけるハンゲル表記の満洲語文語の語形を、メレンドルフ式転写のアルファベット順に配列したものである。

[1] 第1列には、満洲文字で書かれた語のローマ字転写(メレンドルフ式転写)と、その語の和訳を示している。和訳については、羽田(1937)、田村ほか(1966-1968)、福田(2008)等を参考にした。なお、和訳は原則として『三譯総解』中の文脈に限定した意味ではなく、一般的な語義に基づくものとする。

[2] 第1列の動詞については、原則として未完了形とその和訳を記載している。ただし、『三譯総解』における記録が未完了形以外の形式である場合には、第1列に未完了形と和訳を示すとともに、その下の行には、対応する語形を併記している。

* 本稿は、中国国家社会科学基金後期資助項目「満語支語言音系学研究」(課題番号 22FMZB009)の助成を受けた研究成果の一部である。

[3] 第2列には、『三譯総解』に見られるハングル表記の満洲語文語の語形を示している。
 [4] 第3列は、当該語形が『三譯総解』原書のどこに出現しているかを示したものである。たとえば「(4-1a-2-3)」は「第4巻-第1葉a面-第2行-第3語」を表す。「第X語」とは、ハングル表記の満洲語文語のみを対象に順に計数した場合のX番目に現れる語を指す(ハングル表記の満洲語文語以外の語は計数から除外する)。

表1：『三譯総解（第四）』ハングル表記満洲語文語索引

メレンドルフ式転写と和訳	ハングル表記	出現箇所
abka「空」	압카	(4-17b-5-2) (4-21b-1-3) ¹
abkai「空(そら)の」	압카이	(4-20a-4-2)
acambi「会う；合う」	---	---
acaci	아차치	(4-2b-4-8)
acafi	아차피	(4-4b-1-4)
acaha	아차하	(4-6a-6-7) (4-10a-5-6)
acara	아차라	(4-5b-5-1)
acanambi「会いに行く；合っている」	---	---
acanara	아차나라	(4-2a-6-2)
acanarakū	아차나라쿠	(4-3a-6-6)
adali「同様」	아다리	(4-24b-5-5) ²
adambi「並ぶ、隣り合う」	---	---
adame	아다머	(4-13a-3-3) ³
adarame「如何に」	아다라머	(4-2b-6-4) (4-5a-4-5) (4-11a-3-4) (4-20a-2-1) ⁴ (4-21b-2-4)
afabumbi「交付する；指示する」	---	---
afabume	아파부머	(4-22a-4-1)
afambi「攻める、戦う」	---	---
afarengge ⁵	아파렁거	(4-24a-4-6)
aga「雨」	아가	(4-18a-5-3)
agambi「雨が降る」	---	---
agara	아가라	(4-18a-5-4)

¹ 原書の当該箇所では印刷が不鮮明なため、「압카」が「압카」のように見えるが、本来は「압카」と書かれていたものと考えられる。

² 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

³ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

⁴ 原書の当該箇所では印刷が不鮮明なため、「아다라머」が「아다타머」のように見えるが、本来は「아다라머」と書かれていたものと考えられる。

⁵ 母音調和に従えば、afarenggeではなく、afaranggeのはずである。しかし、『三譯総解』の当該箇所では、afarenggeに対応する形で現れている。なお、岸田(1997:184)によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はいずれもafaranggeである。afaranggeの清代文献における出現例は他にもあり、例えば、河内(1989:60)や氏岡(2025:123)などにおける例を参照されたい。

agūra 「豹尾槍(槍の一種) ; 兵器 ; 機械」	아구라	(4-6a-1-1) ⁶
ai 「何 ; 何の」	애	(4-2b-1-4) (4-5b-6-7) (4-7a-3-6) (4-8a-3-3) (4-9b-6-5) (4-9b-6-6) (4-13b-2-4) (4-21a-2-3) (4-21a-2-4)
aibide 「どこに」	애비더	(4-13b-5-2)
aifini 「とつくに」	애피니	(4-21b-6-2)
aikabade 「もし」	애카바더	(4-4a-4-3) (4-4b-3-4) (4-6b-5-5) (4-11a-1-3) (4-12a-1-2) (4-15a-1-6)
ainambi 「何をする、どうする」	애남비	(4-15a-2-7)
ainara	애나라	(4-6b-4-1) (4-23b-3-6)
ainu 「なぜ」	애누	(4-3a-6-1) (4-23a-2-7) (4-24a-1-4)
aisilambi 「助ける」	---	---
aisilame	애시라머	(4-17a-3-2)
ajige 「小さい」	아지거	(4-4a-6-5) (4-23a-2-2)
akdulambi 「固める ; 保証する」	---	---
akdulara	약두라라	(4-8b-1-7)
akdun 「頑丈な ; 信用ある」	약둔	(4-9b-3-1)
akū 「無い」	아쿠	(4-3a-5-6) (4-5a-3-2) (4-5b-5-5) (4-6b-2-1) (4-7a-2-5) (4-8a-3-5) (4-10a-3-3) (4-23b-3-5)
alambi 「告げる」	---	---
alaha	아라하	(4-4b-2-2)
alame	아라머	(4-12a-4-9)
alara	아라라	(4-10b-1-7) (4-22a-5-6)
alanabumbi 「告げに行かせる」	---	---
alanabuha	아라나부하	(4-15b-6-6)
alanambi 「告げに行く」	---	---
alanara	아라나라	(4-19a-1-3)
alanjimbi 「告げに来る」	---	---
alanjiha	아란지하	(4-1a-5-1)
alanju	아란쥬	(4-10a-4-9)
alibumbi 「受けさせる ; 手渡す、呈する ; 授ける」	---	---
alibuki	아리부키	(4-8a-1-1)
alimbi 「受ける ; 引き受ける」	---	---
aliki	아리키	(4-8a-5-7)

⁶ 当該箇所の agūra は、『三譯総解』原書において muke i jugūn de cooha i ai agūra be baitalaha de etembi という文脈に出現しており、『満漢合璧三国志』の対応箇所における漢語は「水路之中用何計以勝曹操」である。したがって、ここでの agūra は漢語の「計」に相当する語であると考えられる。一方、agūra のこの意味は、『大清全書』や『増訂清文鑑』には収録されていない。


alime	아리머	(4-1b-5-3) (4-3a-3-7) (4-18a-2-6)
aliyambi 「待つ ; 後悔する」	---	---
aliya	아라	(4-11b-4-3)
aliyaci	아라치	(4-7b-3-3)
aliyahabi	아라하비	(4-21b-6-4)
aljambi 「離れる ; 顔色を変える」	---	---
aljafi	알자피	(4-2b-5-6)
amala 「後ろ(に) ; 後に ; これから」	아마라	(4-3a-3-3) (4-8b-4-5) (4-17b-3-1)
amargi 「北 ; 後ろ」	아말기	(4-13b-3-5) (4-14a-3-1) (4-19b-5-4)
amba 「大きい」	암바	(4-6a-3-2) (4-7b-3-4) (4-14a-4-5) (4-20a-2-4) (4-20b-3-6)
ambula 「多い ; 大いに」	암부라	(4-1a-6-1) (4-4b-2-6) (4-6a-5-1) (4-8a-6-3) (4-12b-2-1) (4-22a-6-3) (4-25a-1-1)
ambumbi 「追いついて捕える」	---	---
ambuhakū	암부하쿠	(4-19a-3-2)
amcambi 「追う」	---	---
amcaci	암차치	(4-19a-3-1)
amdun 「膠 ; 烏糝」	암둔	(4-12a-6-1)
anggala 「～よりもむしろ ; ～のみならず」	앙가라	(4-16b-2-2)
arabumbi 「作らせる ; 書かせる」	아라뽀뽀	(4-9a-1-2) ⁷
arabufi	아라부피	(4-6b-3-4) (4-8b-2-2)
arambi 「作る ; 書く ; ～のふりをする」	---	---
ara	아라	(4-10b-5-3)
araci	아라치	(4-7a-5-4) (4-10a-2-4)
aracibe	아라치버	(4-21a-4-2)
arafi	아라피	(4-25a-2-3)
araha	아라하	(4-9b-3-3) (4-25a-4-1)
araki	아라키	(4-24b-5-3)
arame	아라머	(4-21a-1-4)
arara	아라라	(4-21a-2-1)
arbun 「容姿 ; 様子」	알분	(4-20b-1-2)
arbušambi 「振舞う」	---	---
arbušara	알부샤라	(4-24a-6-2)
arga 「方法 ; 計略」	알가	(4-1a-2-4) (4-3a-1-5) (4-12a-2-4) (4-20b-6-1) (4-21a-5-4) (4-22b-1-4) (4-23a-2-3) (4-23b-3-4) (4-24a-2-2) (4-24b-1-5)

⁷ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

argangga 「奸計に長けた」	알강가	(4-15a-4-4)
asha 「翼」	앗하	(4-9b-4-4)
aššambi 「動く」	---	---
aššaci	아샤샤치	(4-16b-3-4)
aššahakū	아샤샤하쿠	(4-13a-4-2)
aššara	아샤샤라	(4-24a-6-1)
ba 「所；里(距離単位)」	바	(4-2a-3-5) (4-19a-2-3)
babi 「所がある」	바비	(4-11b-5-2)
bade 「所/里に」	바더	(4-8a-2-2)
bahabumbi 「得させる」	---	---
bahaburakū	바하부라쿠	(4-10a-1-1)
bahambi 「得る」	---	---
baha (完了)	바하	(4-19b-4-5)
bahabi	바하비	(4-22a-2-4) (4-22b-4-2)
bahafi	바하피	(4-2b-6-5) (4-4b-4-3) (4-5a-6-2) (4-18a-4-4)
baharakū	바하라쿠	(4-8a-5-1) (4-10b-5-5) (4-21a-3-2)
bahanambi 「できる」	바하남비	(4-3a-3-4)
bahanafi	바하니피 ⁸	(4-20b-4-6)
bahanarakū	바하니라쿠	(4-20a-6-9)
bai 「ただの；ただ～だけ；職のない」	배	(4-23b-5-4)
baimbi 「探す；求める」	뱌뱌	(4-23b-4-4)
baifi	뱌피	(4-1a-3-2) (4-6b-2-5)
baiha	뱌하	(4-11a-3-1)
baime	뱌머	(4-21a-6-3)
bairengge	뱌렁거	(4-4a-1-8) (4-9b-1-3) (4-11a-5-2)
baita 「事」	뱌타	(4-2a-2-6) (4-8b-4-2)
baitalambi 「使う」	뱌타람비	(4-7a-4-1)
baitalaci	뱌타라치	(4-6b-5-4)
baitalafi	뱌타라피	(4-1a-2-5)
baitalaha	뱌타라하	(4-6a-1-3)
baitalaki	뱌타라키	(4-6b-3-5)
baitalara	뱌타라라	(4-6a-3-8) (4-6b-1-4) (4-11b-5-1)
baitalarakū	뱌타라라쿠	(4-12a-6-5)
bakcilambi 「向かい合う；敵対する」	---	---
bakcilafi	뱌치라피	(4-7b-1-1)
bakcilame	뱌치라머	(4-2a-1-5)
baniha 「感謝」	바니하	(4-18b-5-6)

⁸ 原書の当該箇所では、「바하니피」ではなく「바하니」⁸と記されている。これは誤記であるか、あるいは墨の欠落によるものと考えられる。

banjimbi 「暮らす；生む；生まれる」	---	---
banjifi	반지피	(4-4b-3-2)
banjiha	반지하	(4-9b-4-5)
baru 「～に向かって」	바루	(4-1a-6-6) (4-10b-1-2) (4-14a-3-4) (4-19b-1-2)
basubumbi 「嘲笑される」	바수뽀뽀	(4-5a-1-2)
bata 「敵」	바타	(4-16a-6-2)
baturu 「勇ましい；勇者」	바투루	(4-15a-4-5) (4-24a-1-1)
be 「を」	벼	(4-1a-3-1) (4-1a-4-1) (4-1a-4-4) (4-1b-1-5) (4-1b-2-3) (4-1b-5-2) (4-2a-3-1) (4-2a-4-3) (4-3a-2-3) (4-3a-3-6) (4-3b-1-8) (4-4a-2-2) (4-4a-3-2) (4-4a-5-2) (4-4b-2-1) ⁹ (4-4b-3-7) (4-4b-5-4) (4-4b-6-6) (4-5b-1-4) (4-5b-2-2) (4-6a-1-2) (4-6a-3-7) (4-6a-3-9) (4-6b-2-4) (4-6b-3-2) (4-6b-5-3) (4-7a-2-2) (4-7a-3-5) (4-7b-3-2) (4-7b-6-8) (4-8a-3-7) (4-8a-5-6) (4-8b-1-2) (4-8b-6-2) (4-9a-2-5) (4-9b-1-2) (4-9b-6-4) (4-9b-6-8) (4-10a-4-7) (4-10b-5-2) (4-12a-2-1) (4-12a-6-4) (4-12b-2-5) (4-12b-4-2) (4-12b-6-4) (4-13a-1-3) (4-14a-1-2) (4-14a-2-3) (4-14b-1-1) (4-14b-4-3) (4-15b-4-8) (4-16a-1-6) (4-16a-3-3) (4-16b-4-4) (4-17a-1-2) (4-17a-1-9) ¹⁰ (4-17a-6-4) (4-17b-2-1) (4-17b-4-6) (4-17b-6-2) (4-18a-2-5) (4-18a-4-3) (4-18b-1-5) (4-19a-4-4) (4-19b-3-4) (4-19b-5-6) (4-20a-2-6) (4-20a-4-4) (4-20a-5-4) (4-20a-6-4) (4-20a-6-8) (4-20b-1-3) (4-20b-2-3) (4-20b-3-8) (4-20b-6-2) (4-21a-2-6) (4-21a-4-5) (4-21a-5-5) (4-22a-1-5) (4-22a-3-2) (4-22a-5-2) (4-23b-1-6) (4-23b-4-3) (4-24a-2-3) (4-24a-3-8) (4-24a-6-3) (4-24b-1-9) (4-24b-6-3) ¹¹ (4-25a-3-3)
bederembi 「戻る、帰る、退く」	---	---
bederefi	벼드러피	(4-12a-4-5)
bedereki	벼드러키	(4-15b-1-4)
beri 「弓」	벼리	(4-6a-3-5) (4-16b-5-1) (4-17a-1-6) (4-17b-1-4) (4-17b-4-3)

⁹ 原書の当該箇所では、ハングル表記による満洲語文語は「벼」(be)と記されているが、対応する満洲文字表記は「」と記されており、右側の付点は不鮮明である。

¹⁰ 原書の当該箇所では印刷が不鮮明なため、「벼」が「벼」のように見えるが、本来は「벼」と書かれていたものと考えられる。

¹¹ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

beye 「体 ; 自分」	벼여	(4-15b-2-2) (4-16a-2-5) (4-17b-1-2) (4-19a-4-3)
bi 「私」	비	(4-1b-1-1) (4-3b-1-2) (4-4b-4-2) (4-4b-5-1) (4-5a-2-2) (4-7a-1-3) (4-9b-5-3) (4-10a-6-4) (4-13b-2-8) (4-15a-3-4) (4-24a-3-2)
bi 「ある ; いる」	비	(4-12b-1-1) (4-13b-5-3) (4-16b-1-6) (4-19b-2-3) (4-21b-2-1) (4-22b-2-3) (4-24b-1-6)
bici	비치	(4-2a-4-1) (4-15b-2-4)
bicibe	비치버	(4-15a-4-6)
bihe	비허	(4-10b-3-1) (4-21a-1-7)
biheo	비호	(4-6a-2-4)
bisire	비시러	(4-9b-6-2)
bibumbi 「留める」	---	---
bibuhe	비부허	(4-4b-3-8)
bithe 「本 ; 字 ; 学識」	밧허	(4-8b-2-1) (4-9b-3-2) (4-24b-5-2)
boco 「色 ; 顔色 ; 女色」	보초	(4-20a-4-3)
bodohon 「謀、計略」 ¹²	보도훈	(4-22b-2-1)
bodombi 「考える ; 計算する」	---	---
bodoci	보도치	(4-7b-4-6) (4-15a-4-1)
bodome	보도머	(4-20b-4-5)
boode 「家/部屋に ; 家/部屋で」	보더	(4-23a-5-2)
bošombi 「追い出す」	보솨비	(4-14b-1-5)
bucembi 「死ぬ」	부첨비	(4-3b-4-1)
bucecibe	부쳐치버	(4-5a-2-7)
bucere	부쳐러	(4-9b-1-1)
buksimbi 「伏兵を置く」	---	---
buksiha	복시하	(4-16b-1-4)
bumbi 「与える」	---	---
bufi	부피	(4-25a-3-6)
buhe	부허	(4-18b-5-5) (4-22a-4-2)
buya 「小さい ; 気が小さい ; 下賤の」	부야	(4-9a-2-2)
buyembi 「愛する ; 願う」	---	---
buyeme	부여머	(4-11a-2-6)
cacari 「天幕」	차차리	(4-5b-1-5) (4-22a-3-7)
cambi 「天幕を張る ; 橋をかける ; 弓に弦を張る」	---	---
cafi	차피	(4-11b-1-5) (4-12b-5-8)

¹² 岸田 (1997: 184) によれば、『満文三國志』および『満漢合璧三國志』では、対応箇所における語形はいずれも bodogon である。なお、『三譯総解』の他の箇所に見られる bodohon に対応する『満文三國志』・『満漢合璧三國志』の語形および清代辞書における出現例については、岸田 (1997: 84-85) および王海波 (2026c: 8) を参照されたい。

cendembi 「試す」	---	---
cendeme	첸더머	(4-1b-3-6)
cenghiyang 「漢語丞相」	청향	(4-18b-5-3)
ceni 「彼らの；彼女たちの」	첸니	(4-17b-1-1)
ci 「より」	치	(4-3b-6-2) (4-8b-6-6) (4-22b-6-2)
cikten 「幹、莖；矢柄」	칙턴	(4-12a-5-3)
cimaha 「明日」	치마하	(4-8b-6-4) (4-19b-5-3)
cimari 「明日；朝」	치마리	(4-7b-1-3)
cira 「厳しい」	치라	(4-24a-4-3)
cira 「顔、顔色」	치라	(4-2b-5-5)
cisui 「私(事)、私生活上の；勝手に、自ら」	치쉬	(4-9a-6-6) (4-12b-3-4) (4-25a-2-1)
cohome 「特に」	초호머	(4-14a-2-8) (4-21a-5-1)
cooha 「兵；軍」	초하	(4-3b-3-8) (4-5b-4-5) (4-5b-6-5) (4-6b-1-2) (4-7a-6-6) (4-7b-1-6) (4-8a-1-5) (4-8a-5-3) (4-8b-3-8) (4-9b-5-4) (4-10b-6-2) (4-11a-6-4) (4-15a-2-3) (4-15b-4-4) (4-16a-1-5) (4-16a-3-2) (4-16b-1-5) (4-16b-4-3) (4-17a-6-1) (4-19b-5-5) (4-20a-6-1) (4-20b-1-5) (4-21b-5-6) (4-22a-3-5)
coohai 「兵/軍の」	초해	(4-2a-2-5) (4-9a-2-3) (4-16b-2-3)
cuwan 「漢語船」	촨	(4-1b-6-1) (4-2a-1-2) (4-4a-6-6) (4-11a-5-4) (4-11a-6-2) (4-11a-6-8) (4-11b-2-1) (4-12b-4-1) (4-12b-4-4) (4-13a-3-1) (4-13a-6-4) (4-13b-1-1) (4-14a-2-2) (4-14a-6-5) (4-14a-6-9) (4-14b-3-1) (4-14b-4-2) (4-14b-6-1) (4-17a-2-4) (4-17b-6-1) (4-18b-1-4) (4-18b-2-3) (4-19a-1-5) (4-19b-1-4) (4-21b-3-5) (4-22a-1-2)
dabumbi 「数の内に入れる；点ける」	---	---
daburakū	다부라쿠	(4-8b-6-3)
dagilambi 「準備する」	---	---
dagilafi	다기라피	(4-8b-3-2)
dalba 「傍ら」	달바	(4-13a-1-2) (4-18b-2-7)
dalbade 「傍らに/で」	달바더	(4-11b-2-7) (4-17a-3-1)
daldambi 「隠す」	---	---
daldame	달다머	(4-25a-2-2)
dalin 「岸」	다린	(4-11b-4-1) (4-14a-3-2) (4-16a-2-8) (4-21b-4-1) (4-21b-5-2)
damu 「もっぱら；ただ；しかし」	다무	(4-11a-5-1) (4-18a-3-4)
dasatambi 「整える；身繕いする；修理する」	---	---

dasatara	다사타라	(4-16a-2-1)
de 「に ; で」	더	(4-1b-6-2) (4-2a-1-3) (4-2a-3-3) (4-2a-5-6) (4-2b-4-3) ¹³ (4-3a-5-4) (4-3b-3-5) (4-3b-6-5) (4-4a-1-5) (4-4a-4-5) (4-4a-6-7) (4-4b-1-3) (4-4b-4-1) (4-4b-6-8) (4-5a-1-1) (4-5a-2-5) (4-5b-4-3) (4-5b-5-2) (4-5b-6-4) (4-6a-1-4) (4-6a-3-4) (4-6a-6-6) (4-6b-1-3) (4-7a-3-8) (4-8b-3-4) (4-8b-4-7) (4-9b-4-3) (4-9b-6-1) (4-10a-5-5) (4-10b-1-5) (4-11a-4-5) (4-11a-6-3) (4-11b-4-2) (4-11b-6-8) (4-12a-4-8) (4-13a-6-1) (4-13b-1-2) (4-13b-3-6) (4-13b-6-7) (4-14a-3-7) (4-14a-4-4) (4-14b-2-5) (4-15a-2-6) (4-15a-5-3) (4-15b-6-5) (4-16a-2-9) (4-16a-5-4) (4-16b-6-4) (4-17b-2-5) (4-18b-3-2) (4-19a-1-2) (4-21a-3-5) (4-21b-1-4) (4-21b-4-2) (4-21b-5-3) (4-22a-5-5) (4-22b-2-2) (4-23a-1-2) (4-23a-6-4) (4-23b-3-2) (4-24a-2-1) (4-24b-1-3) (4-24b-5-1) (4-25a-3-5)
dele 「上(に) ; 皇上」	더러	(4-11b-1-1) (4-14b-6-3)
dere 「～であろう」	드러	(4-3a-2-5)
dergi 「上 ; 東」	덜기	(4-3a-5-3) (4-18b-2-5) (4-19b-3-2) (4-22b-3-3) (4-23b-6-5)
deribumbi 「始める」	---	---
deribufi	더리부피	(4-21a-6-1)
deribuhe	더리부허	(4-20b-6-3)
dethe 「鳥の羽 ; 矢の羽」	덜허	(4-12a-5-4)
deyembi 「飛ぶ」	---	---
deyeme	더여머	(4-9b-4-7)
dobori 「夜」	도보리	(4-14a-4-2) (4-24a-3-3)
dolo 「内 ; 心中 ; 腹中」	도로	(4-7a-5-3) (4-7b-6-4) (4-8a-4-4) (4-10b-4-4) (4-12b-6-1) (4-14a-6-7) (4-18a-3-3)

¹³ 原書の当該箇所では印刷が不鮮明なため、「더」が「너」のように見えるが、本来は「더」と書かれていたものと考えられる。

dombi 「川を渡る」	---	---
dome ¹⁴	도머	(4-1a-4-7)
donjimbi 「聴く」	돈짐비	(4-18a-4-5)
donjici	돈지치	(4-3b-1-3)
donjifi	돈지피	(4-4b-2-5) (4-15b-5-1)
donjiha	돈지하	(4-4a-4-4)
donjiki	돈지키	(4-2a-4-4)
doro 「道理 ; 礼儀」	도로	(4-22b-6-7)
doroi 「道理/礼儀の」	도뢰	(4-2a-6-1) (4-2b-4-7) (4-3a-6-4) ¹⁵
dosimbi 「入る ; 進む ; 進撃する」	---	---
dosime	도시머	(4-14a-3-5)
dosirahū	도시라후	(4-17a-6-6)
dosimbumbi 「入れる」	---	---
dosimbufi	도심부피	(4-2a-1-4) (4-23a-5-3)
dudu 「漢語都督」	두두	(4-2a-5-5) (4-8a-3-6) (4-24b-3-4)
duici 「第四」	뒤치	(4-13a-5-3)
duin 「四」	뉘	(4-19b-1-7)

¹⁴ 「川を渡る」を表す動詞の語基は、『増訂清文鑑』では doo- と綴られている。見出し語 doombi 「渡河」を参照されたい。一方、『大清全書』には do- と doo- の両綴りが収録されている。それぞれ見出し語 do 「叫人渡。(中略) 渡河之渡。(後略)」および dooha-re 「渡河。(後略)」を参照されたい。また、「鳥が木にとまる」を表す動詞の語基は、『増訂清文鑑』では do- と綴られている。見出し語 domba 「鳥雀落下了。」および dooha-re 「渡河。鳥落。棲止依。」を参照されたい。なお、より多くの清代辞書における両語基の形式は、岸田 (1997: 85) を参照されたい。

以上の二語基について、『三譯総解』および『満漢合璧三国志』における形式は、次表のとおり整理できる。表中の『満漢合璧三国志』の範囲は、『三譯総解』に対応する部分に限る。『増訂清文鑑』の語基形と一致しない場合 (すなわち、do- 「川を渡る」および doo- 「鳥が木にとまる」の場合) は網掛けで示した。また、表中の「岸田対校表番号」とは、岸田 (1997) における『三譯総解』・『満文三国志』・『満漢合璧三国志』対校表の番号を指す。

表 2: 『三譯総解』・『満漢合璧三国志』における「川を渡る」・「鳥が木にとまる」の出現例

意味	増訂清文鑑	大清全書	岸田対校表番号	三譯総解	満漢合璧三国志	通し番号
川を渡る	doo-	do- / doo-	---	doome (3-16a-2-1)	doome (9-76b-6-12)	[1]
			187	dome (4-1a-4-7)	doome (10-2a-3-10)	[2]
			294	dome (5-7a-3-3)	doome (10-15b-4-9)	[3]
			369	dome (5-19b-5-8)	doome (10-21b-1-9)	[4]
			481	dome (6-18b-1-5)	doome (10-31b-1-9)	[5]
			551	dobume (7-7a-3-4)	dobome (10-37a-6-5)	[6]
			---	doombi (7-19a-5-2)	doombi (10-42a-3-10)	[7]
			---	dooha (7-21b-3-2)	dooha (10-43a-3-7)	[8]
			725	dome (8-18a-1-4)	doome (10-51a-5-5)	[9]
			---	dooci (9-3a-1-7)	dooci (10-99a-3-4)	[10]
鳥が木にとまる	do-	do- / doo-	727	dore (8-18b-1-2)	doore (10-51b-1-2)	[11]
			743	dore (8-21a-2-5)	doore (10-52b-1-4)	[12]

¹⁵ 当該箇所は、『三譯総解 (第四)』原書において ainu urgun i doroi i acanarakū ni という文脈に出現している。この例では、doroi 自体にすでに格標識の i が含まれているにもかかわらず、その直後にさらに格標識 i が付されている。岸田 (1997: 179) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』の対応箇所には、doroi の後に i は現れない。

dulimbai 「中央の」	두림배	(4-22a-3-4)
dumbi 「打つ」 ¹⁶	---	---
dume	두머	(4-14b-6-5) (4-15b-4-6)
dure	두리	(4-18a-3-6)
durimbi 「奪う」	---	---
durime	두리머	(4-17a-6-5)
dzy 「漢語子」 (dzy jing 「子敬」) (sun dzy 「孫子」) (u dzy 「呉子」)	즈	(4-1b-3-1) (4-4a-1-3) (4-5a-5-4) (4-10a-6-5) (4-11a-1-1) (4-11a-4-3) (4-11b-5-5) (4-12a-2-8) (4-13b-3-1) (4-13b-6-1) (4-15b-2-6) (4-23a-4-4) (4-23a-4-6)
efimbi 「遊ぶ」	---	---
efime	어피머	(4-8a-2-3)
efulembi 「壊す；齧す」	---	---
efule	어푸리	(4-23b-1-8)
ekšembi 「急ぐ」	---	---
ekšeme	억셔머	(4-15b-6-3) (4-18b-1-3)
emdubei 「ひたすら」	엄두베	(4-16b-5-3) (4-17b-2-3)
emgi 「一緒に」	엄기	(4-13b-3-4) (4-23a-6-1)
emu 「一」	어무	(4-1b-3-4) (4-3a-1-4) (4-11a-6-1) (4-14b-5-3) (4-21a-5-3) (4-23a-2-1) (4-23b-5-5) (4-24b-1-4) (4-24b-5-4)
encu 「別の」	엔츄	(4-11b-4-4) (4-12a-6-7) (4-24b-6-1)
enduri 「神」	엔두리	(4-22b-1-3) ¹⁷
enduringge 「聖なる」	엔두링거	(4-20a-1-2)
enenggi 「今日」	어녕기	(4-8b-6-1) (4-10b-3-3) (4-20a-2-2) (4-20b-3-4)
erdemu 「才徳」	얼더무	(4-6b-5-6) (4-20b-3-2)
ere 「この；これ；この人」	어리	(4-3a-1-3) (4-3b-3-1) (4-4a-2-3) (4-4b-3-5) (4-6a-5-7) (4-7a-1-4) (4-9a-5-4) (4-19b-4-6) (4-20b-3-5) (4-20b-5-2) (4-21a-5-2)
ergelembi 「強いる」	---	---
ergelehengge	얼거러헝거	(4-9b-1-5)
erin 「時」	어린	(4-7a-3-7)
etemi 「勝つ」	어텨미	(4-6a-1-5)
fafulambi 「禁ずる；伝令する」	---	---
fafulame	파푸라머	(4-16a-5-1)

¹⁶ 当該動詞語幹は、文献によっては tū- と du- の両綴りが存在する（池上 1955: 457）。『三譯総解』の当該箇所では、du- の形で現れている。

¹⁷ 原書の当該箇所では印刷が不鮮明なため、「엔두리」が「인두리」のように見えるが、本来は「엔두리」と書かれていたものと考えられる。

fafun 「法律；法度；伝令」	파푼	(4-8a-5-5) (4-10b-6-4) (4-17a-4-3) (4-17b-3-2) (4-24a-4-2)
faidabumbi 「整列させる」	---	---
faidabufi	패다부피	(4-14b-5-6)
faidambi 「整列する、並ぶ」	---	---
faidame	패다머	(4-16a-4-3)
faidan 「行列；陣；儀仗」	패단	(4-20b-1-1)
fakcambi 「離れる、別れる」	---	---
fakcafi	팍차피	(4-9a-4-4)
fakcaki	팍차키	(4-3b-6-3)
faksi 「巧みな；職人」	팍시	(4-20b-5-3) (4-21a-2-2)
faksisa 「職人たち」	팍시사	(4-9b-6-3)
falangū 「掌」	파랑구	(4-24b-4-6)
farhūn 「暗い」	팔훈	(4-15a-5-1) (4-16a-5-5)
fejergi 「下」	퍼절기	(4-19a-5-1)
fejile 「下(に)」	퍼지러	(4-5b-1-6)
ferguwecuke 「奇とすべき」	펄귀츄커	(4-11b-4-7) (4-22b-1-5) (4-23a-2-8) (4-23b-3-3)
ferguwembi 「奇とする」	---	---
ferguwehe	펄귀허	(4-21b-3-4)
fi 「筆」	피	(4-25a-1-3) (4-25a-3-1)
fik (fik seme 「ぎっしりと」)	픽	(4-11b-3-1)
fiktu 「隙；不和」	픽투	(4-21a-6-2)
firgembumbi 「秘密を洩らす」	---	---
firgembuci	필검부치	(4-12a-2-2) ¹⁸
fonde 「時に」	폰더	(4-10a-2-2) (4-16a-1-3)
fonjimbi 「問う」	폰짐비	(4-24a-2-4)
fonjime	폰지머	(4-5b-4-4) (4-13b-2-3)
fonjire	폰지러	(4-5a-5-7) (4-13b-6-4)
fonjirengge	폰지렁거	(4-7a-3-1)
fulmiyembi 「束ねる」	---	---
fulmiyehe	풀며허	(4-18b-2-8)
fulmiyen 「束」	풀면	(4-11b-2-4)
funcembi 「余る」	---	---
funceme	푼쳐머	(4-17b-4-1) (4-19a-2-4) (4-19b-4-3) ¹⁹ (4-22a-2-3) (4-22b-3-7) (4-22b-5-2)
funde 「代わりに」	푼더	(4-3b-1-9)
futa 「縄」	푸타	(4-14a-2-4)
gabtabumbi 「射させる；射られる」	갓타뵈비	(4-17b-5-1)
gabtabuki	갓타부키	(4-16b-5-4)

¹⁸ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

¹⁹ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

gabambi 「射る」	---	---
gabta	갑타	(4-17a-3-3)
gabtaha	갑타하	(4-18a-5-1)
gabtame	갑타머	(4-19b-5-7) ²⁰
gabtara	갑타라	(4-17b-2-4) (4-18a-2-3)
gaibumbi 「取らせる；取られる；消息を探らせる；負ける」	---	---
gaibufi	개부피	(4-22a-1-6)
gaibuhabi	개부하비	(4-22b-5-3)
gaimbi 「とる」	괌비	(4-18a-2-7)
gaifi	개피	(4-1b-5-4) (4-17b-2-2) (4-25a-1-7)
gaijarakū	개자라쿠	(4-3a-4-1)
gaime	개머	(4-1b-6-4)
gajimbi 「持って/取って/連れてくる；取り/連れに来る」 ²¹	---	---
gaji	가지	(4-25a-1-5) ²²
gajime	가지머	(4-17a-2-1)
gala 「手」	가라	(4-1a-2-8) (4-3b-3-4) (4-24b-4-4)
gamambi 「持って/取って/連れて行く」	가맘비	(4-10b-6-6)
ganabumbi 「取り/連れに行かせる」	---	---
ganabufi	가나부피	(4-21a-4-1)
ganambi 「取り/連れに行く」	---	---
ganaki	가나키	(4-13b-3-8)
gelgun ²³ (gelgun akū 「敢えて」)	결군	(4-7a-2-4) (4-8a-3-4)
geli 「また」	거리	(4-13a-4-5) (4-16b-6-1)
gemu 「皆」	거무	(4-11b-3-4) (4-12b-5-5) (4-13a-2-2) (4-14a-6-4) (4-16a-3-4) (4-17b-4-8) (4-19a-5-4) (4-22a-3-3)
genembi 「行く」	---	---
geneci	거너치	(4-9b-4-8)
genefi	거너피	(4-10a-4-2) (4-10a-5-3) (4-24a-3-4)

²⁰ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

²¹ gajimbi の意味については、早田 (1993) を参照されたい。

²² 原書の当該箇所では印刷が不鮮明なため、「가지」が「가치」のように見えるが、本来は「가지」と書かれていたものと考えられる。

²³ 当該語は『大清全書』および『増訂清文鑑』のいずれにおいても gelhun と綴られている。なお、岸田 (1997: 181) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』の当該箇所の語形は、それぞれ gelgun と gelhun である。성백인 (1984: 27) によれば、『三譯総解』における towa 「火」、labdo、gelgun akū、targū は主として順治初年以前の文献に見られるものである。

geneche	거너히	(4-4a-6-9) (4-9a-4-5) ²⁴ (4-13b-6-6) (4-18b-6-3)
genere	거너리	(4-14a-3-6)
genggiyelembi 「はっきりする ; はっきりとわかる」	---	---
genggiyelerakū	경겨러라쿠	(4-20b-2-4)
gerembi 「空が明るくなる」	---	---
gereme	거러머	(4-17b-5-3)
geren 「多くの ; すべての ; 衆人」	거런	(4-1b-1-3) (4-5b-1-2) (4-9b-2-1)
gese 「～のような」	거서	(4-18a-5-5)
gidambi 「押さえる ; 打ち負かす ; 頭を垂れる ; 塩漬けにする ; 鳥が卵を抱く ; 隠す」	---	---
gidaci	기다치	(4-1b-1-6) (4-1b-2-4)
ging 「漢語更(初更などの更)」	깁	(4-13a-5-4) (4-14b-2-4)
gisun 「言葉」	기순	(4-1b-3-5) (4-1b-5-1) (4-3b-5-3) (4-6a-5-8) (4-10a-3-2) (4-12a-5-2) (4-22a-5-1)
gisurembi 「話す」	---	---
gisureci	기수러치	(4-8a-2-4)
gisurefi	기수러피	(4-3b-5-6)
gisurere	기수러리	(4-4a-3-6) (4-24b-4-1)
giyan 「理」	간	(4-12a-6-8) (4-20a-5-3)
giyang 「漢語江」	깡	(4-1a-4-6) (4-3a-5-1) (4-6a-3-3) (4-11b-3-5) (4-14a-4-3) (4-16a-2-6) (4-16a-5-3) (4-17a-5-4) (4-19b-2-4) (4-21b-4-5) (4-22b-3-1) (4-23b-6-3)
golombi 「驚く」	---	---
golofi	고로피	(4-2b-5-4) (4-15a-1-4)
goro 「遠い」	고로	(4-5b-5-4) (4-19a-2-5)
gung 「漢語公 (gung jin 「公瑾」)	궁	(4-23b-6-1) (4-2b-2-2) (4-4a-4-1) (4-10b-1-3) (4-11b-6-6) (4-20b-6-4) (4-21b-2-2)
guwebumbi 「赦免する」	---	---
guwebuci	귀부치	(4-11a-1-5) ²⁵ (4-11a-3-5)
gūnimbi 「思う」	---	---
gūnici	구니치	(4-1b-1-2)
gūnin 「心 ; 意 ; 考え」	구닌	(4-4b-5-3) (4-6a-6-5) (4-12b-2-4) (4-13b-2-5)
gūsin 「三十」	구신	(4-11a-6-7)
gūsita 「三十毎」	구시타	(4-12b-5-2)

²⁴ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

²⁵ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

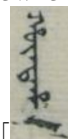
gūwa 「別の；別の人」	꺤	(4-6b-5-1)
g'an 「漢語幹 (jiyang g'an 「蔣幹」)	간	(4-3a-2-2)
hacin 「件、項、種；上元」	하친	(4-11b-4-5)
hadambi 「靴底を縫いつける； 釘付けにする；見つめる」	---	---
hadahangge	하다항거	(4-18b-4-1)
hafan 「官吏」	하판	(4-8b-1-1)
hafasa 「諸官」	하파사	(4-5b-1-3)
hafumbi 「貫通する；通曉する」	---	---
hafundarakū ²⁶	하푼다라쿠	(4-20a-4-5)
haksan 「険しい；凶暴な」	학산	(4-19a-1-8)
hamimbi 「殆ど足りる；殆ど ～に近い」	---	---
hamika	하미카	(4-7b-2-1)
hamirakū	하미라쿠	(4-6b-6-1)
hanci 「近い」	한치	(4-18a-2-1)
hendumbi 「言う」	---	---
hendufi	헌두피	(4-18b-6-2)
hendume	헌두머	(4-1a-6-7) (4-2a-2-3) (4-2a-5-1) (4-2b-1-3) (4-2b-2-1) (4-2b-6-1) (4-3a-1-2) (4-4a-1-2) (4-4b-3-3) (4-4b-6-4) (4-5a-2-1) (4-5a-4-2) (4-5a-5-3) (4-6a-3-1) (4-6a-5-3) (4-7a-1-2) (4-7a-4-4) (4-7a-6-2) (4-7b-4-3) (4-7b-6-1) (4-8a-1-4) (4-8a-3-2) (4-8b-3-7) (4-8b-5-2) (4-9a-5-3) (4-9a-6-3) (4-10a-6-3) (4-11a-2-4) (4-11a-4-2) (4-13b-2-7) (4-13b-4-3) (4-13b- 5-5) (4-15a-1-5) (4-15a-3-3) (4-16a-5-2) (4- 19b-1-3) (4-19b-6-3) (4-20a-3-2) (4-22a-6-6) (4-23a-1-4) (4-23a-3-4) (4-23b-1-1) (4-23b- 5-2) (4-24a-3-1) (4-24b-3-3)
hengkilembi 「叩頭する」	---	---
hengkileme	헝커러머	(4-21b-3-3)
heo 「漢語侯」 (u heo 「呉侯」)	호	(4-23b-1-4)
hetembi 「袖を捲り上げる；裾 開を掲げ持つ；簾を巻き上 げる；服・布団を畳む；女が 叩頭する；霧が散る」	---	---
hetehe	히티히	(4-18a-6-7)


²⁶ Yang (2025: 73) は動詞語幹 hafun- を想定し、これに付く未完了連体接辞（原文では nonpast participle suffix 「非過去分詞接尾辞」）には -ndArA と -rA の両形が存在すると述べている。

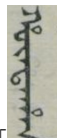
heteme	히터머	(4-15b-1-2)
hetu 「横」	히투	(4-3b-5-2)
holbombi 「結婚する；対にする；連ねる」	---	---
holbome	홀보머	(4-14a-2-6)
holtombi 「騙す」	홀툼비	(4-8a-4-1)
holtoho	홀토포	(4-3a-2-4) (4-23a-2-5)
holtorakū	홀토라쿠	(4-9a-5-6)
hono 「なお」	호노	(4-19b-3-6)
hūdun 「速い」	후둔	(4-14b-1-2) (4-17a-2-2) (4-23b-1-7)
hūlambi 「読む；呼ぶ；雄鶏が鳴く」	---	---
hūlafi	후라피	(4-8b-1-3)
hūlame	후라머	(4-18b-6-1)
hūntaha 「杯」 ²⁷	훈타하	(4-9a-4-1)
hūsun 「力」	후순	(4-19b-3-3)
hūsurengge 「有力な」 ²⁸	후수렁거	(4-16b-1-1)
hūwaitambi 「繋ぐ」	---	---
hūwaitafi	웨타피	(4-13a-1-4) (4-14a-2-7)
hūwang 「漢語晃」 (sioi hūwang 「徐晃」)	황	(4-17a-1-1)
i 「彼；彼女」	이	(4-19a-4-5)
i 「の；で」	이	(4-1a-2-7) (4-1a-6-5) (4-2a-5-8) (4-2b-4-6) (4-3a-1-6) (4-3a-6-3) (4-3a-6-5) (4-3b-3-7)

²⁷ 当該語が『満漢同文分類全書』に出現する語形としては、[1] hūntaha, [2] hūntahan, [3] hūntagan の三形式が確認される。具体的には、見出し語 [1] yasai hūntaha 「眼眶」、[2] hūntahan maktambi 「擲木鍾占卦」、hūntahan taili 「鍾托」、[3] hūntagan holbombi 「合登」を参照されたい。

また、『増訂清文鑑』において当該語は、通常 hūntahan の形式で出現する。しかし、筆者が参照した



『増訂清文鑑』の見出し語 yalici 「猪肉子」の説明文中に見られる当該語の語形「」は、hūntahan ではないようである。一見すると hūntaha のようにも見えるものの、圈の位置を考慮すると hūntaha ではなく、むしろ hūnthan と解すべきである。この hūnthan の語形については、誤記である可能性も排除できな



い。『増訂清文鑑』における見出し語 hūntahan の形式「」も併せて参照されたい。

清代文献における当該語の形式については、岸田 (1997: 87) も参照されたい。また、岸田 (1997: 87, 181) によれば、『三譯総解』(4-9a-4-1)に対応する『満文三国志』および『満漢合璧三国志』の当該箇所語形はいずれも hūntahan である。ただし、『満文三国志』には hūntahan の語形に加え、hūntaha の語形も見られる (岸田 1997: 87, 252)。

²⁸ 原書の当該箇所では印刷が不鮮明なため、「후수렁거」が「후수렁거」のように見えるが、本来は「후수렁거」と書かれていたものと考えられる。なお、原文では、満洲文字による満洲語文語は hūsurengge と綴られているが、この語形は『大清全書』や『増訂清文鑑』には収録されておらず、誤記である可能性がある。岸田 (1997: 182) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はいずれも hūsungge である。

		(4-3b-5-4) (4-5b-4-7) (4-5b-6-2) (4-5b-6-6) (4-6a-6-4) (4-7b-1-5) (4-8a-2-1) (4-8a-5-4) (4-8b-4-1) (4-9b-2-2) (4-10a-4-4) (4-10b-6-3) (4-10b-6-5) (4-11a-6-5) (4-11a-6-9) (4-11b-1-3) (4-11b-4-6) (4-13a-3-2) (4-13a-6-5) (4-14a-2-5) (4-14a-3-3) (4-14a-6-6) (4-14b-3-3) (4-14b-5-5) (4-14b-6-2) (4-15a-2-2) (4-15b-3-4) (4-16a-6-3) (4-17a-2-5) (4-17a-4-2) (4-18a-3-2) (4-18a-6-4) (4-18b-2-4) (4-18b-3-4) (4-19b-1-1) (4-19b-5-2) (4-20a-5-2) (4-20a-6-2) (4-20b-2-1) (4-21a-6-5) (4-22a-1-3) (4-22a-3-6) (4-22b-4-4) (4-22b-6-6) (4-22b-6-8) (4-23a-2-4) (4-24a-3-6) (4-24a-4-5) (4-24b-4-5)
icihiyambi 「処理する」	---	---
icihiyara	이치하라	(4-2a-3-2)
ilaci 「第三」	이라치	(4-9a-1-3) (4-11b-5-3) (4-13a-5-1)
ilan 「三」	이란	(4-7b-6-2) (4-8a-4-2) (4-10b-4-2) (4-20b-4-2)
ilata 「三つ毎」	이라타	(4-17a-1-3)
iletulembi 「現れる ; 目立つ」	---	---
iletuleme	이러투러머	(4-9b-2-4)
iletulerakū	이러투러라쿠	(4-4b-4-4)
ilibumbi 「立たせる ; 立てる ; 止める」	---	---
ilibufi	이리부피	(4-11b-3-3)
ilibuhabi	이리부하비	(4-13a-3-4)
ilibume	이리부머	(4-16a-4-4)
ilimbi 「立つ ; 起きる ; 止まる ; 休む」	---	---
ilifi	이리피	(4-18a-2-2)
in 「漢語陰」 (in yang 「陰陽」)	인	(4-20a-6-6)
inde 「彼に ; 彼女に」	인더	(4-12a-6-6)
inenggi 「日」	이녕기	(4-5b-1-1) (4-7a-5-2) (4-7b-3-1) (4-7b-5-2) (4-7b-6-3) (4-8a-4-3) (4-8b-6-5) (4-9a-2-1) (4-10b-4-3) (4-11b-5-4) (4-13a-4-1) (4-13a-4-4) (4-13a-5-2) (4-14b-2-2) (4-20b-4-3) (4-21a-1-3)
inenggidari 「毎日」	이녕기다리	(4-2a-2-4)
ing 「漢語當」	잉	(4-14b-3-5) (4-15b-4-2) (4-16b-6-3) (4-17a-6-3) (4-18a-1-3) (4-22b-6-1) (4-24a-3-7)
ini 「彼の ; 彼女の」	이니	(4-9a-6-5) (4-12b-3-3) (4-16a-2-4) (4-19a-4-2) (4-25a-1-8)

injembī 「笑う」	---	---
injeme	인저머	(4-15a-3-2)
inu 「そうだ ; 是 ; も」	이누	(4-2a-5-2) (4-2a-5-4) (4-4a-6-3) (4-5a-2-8) (4-12a-2-5) (4-12a-3-2) (4-21a-4-3) (4-24a-5-5) (4-25a-3-8)
ioi 「漢語于」 (ioi jin 「于禁」)	위	(4-3b-1-6) (4-15b-5-4) (4-17a-4-6)
ioi 「漢語瑜」 (jeo ioi 「周瑜」)	위	(4-1a-2-3) (4-1a-5-4) (4-4b-1-2) (4-4b-2-4) (4-5a-1-4) (4-5a-5-2) (4-5b-4-1) (4-6a-4-4) (4-7a-4-3) (4-7b-4-2) (4-8a-1-3) (4-8a-6-2) (4-8b-3-6) (4-9a-6-2) (4-12a-4-7) (4-12b-1-4) (4-22a-5-4) (4-22a-6-2) (4-22b-5-5) (4-23a-3-3) (4-23a-6-6) (4-23b-3-1) (4-24a-2-6) (4-24b-1-2) (4-24b-6-6)
isabumbi 「集める ; 髪を編ませる」	---	---
isabufi	이사부피	(4-5b-1-7)
ishunde 「互いに」	잇훈더	(4-14a-5-3)
isimbi 「足りる ; 至る、及ぶ、届く」	---	---
isikabi	이시카비	(4-5b-5-3)
isime	이시머	(4-19b-2-2)
isirakū	이시라쿠	(4-22b-2-4) (4-23a-4-9)
isinambi 「着く、至る」	---	---
isinafi	이시나피	(4-14b-3-8) (4-21b-4-3)
isinara	이시나라	(4-17a-4-4)
isinjimbi 「到来する」	---	---
isinjime	이신지머	(4-7b-1-7)
isinjire	이신지러	(4-17b-3-3)
ja 「安い ; 易しい」	쟈	(4-24a-4-4)
jabumbi 「答える」	---	---
jabume	자부머	(4-3b-4-5)
jabure	자부러	(4-10a-3-1)
jafabumbi 「取らせる ; 取られる ; 掴まれる ; 掴ませる ; 逮捕させる ; 逮捕される」	---	---
jafabufi	자파부피	(4-16b-5-2)
jafambi 「取る ; 掴む ; 捕らえる、逮捕する ; 氷が張り詰める ; 交わりを結ぶ」	---	---
jafaha	자파하	(4-17a-1-7) (4-17b-1-5) (4-17b-4-4)
jai 「第二 ; 再び ; 更に」	재	(4-5a-6-1) (4-5a-6-5) (4-13a-4-3)

jaka 「物；隙間；所；～たばかり」	자카	(4-9b-6-7) (4-21a-2-5)
	자카 ²⁹	(4-12a-6-3)
jakade 「～の所に/で；～ので」	자카더	(4-13a-6-6) (4-13b-1-5) (4-14b-3-7) (4-17b-3-4) (4-22a-3-8) (4-22a-5-7)
jalgan 「寿命」	잘간	(4-21b-1-2)
jalumbi 「満ちる」	---	---
jalukabi	자루카비	(4-18b-4-3)
jampan 「蚊帳」	잠판	(4-11b-1-4) (4-12b-5-7)
jang 「漢語張」 (jang yūn 「張允」)	장	(4-1a-3-5)
jangliyoo 「漢語張遼」	장료	(4-16b-6-5) ³⁰
je 「はい(応答の語)」	저	(4-12a-4-3)
jeku 「穀物；糧食」	저쿠	(4-12b-6-2)
jeng 「漢語政」 (jiyūn jeng sy 「軍政司」)	정	(4-8a-6-6)
jeo 「漢語周」 (jeo ioi 「周瑜」)	조	(4-1a-2-2) (4-1a-5-3) (4-4b-1-1) (4-4b-2-3) (4-5a-1-3) (4-5a-5-1) (4-5b-3-5) (4-6a-4-3) (4-7a-4-2) (4-7b-4-1) (4-8a-1-2) (4-8a-6-1) (4-8b-3-5) (4-9a-6-1) (4-12a-4-6) (4-12b-1-3) (4-22a-5-3) (4-22a-6-1) (4-22b-5-4) (4-23a-3-2) (4-23a-6-5) (4-23b-2-3) (4-24a-2-5) (4-24b-1-1) (4-24b-6-5)
jergi 「階級；類い；回；凡庸な」	절기	(4-4a-1-7) (4-12a-6-2) (4-20b-3-1) (4-23b-5-6)
jilgan 「声；音」	질간	(4-18a-4-2)
jili 「怒り」	지리	(4-4b-3-1)
jimbi 「来る」	---	---
jiderengge	지더렁거	(4-16a-6-4)
jifi	지피	(4-1a-4-8) (4-5b-3-2) (4-11b-6-2) (4-16a-3-1) (4-17a-2-3) (4-21b-6-3)
jihe	지허	(4-1b-6-5) (4-2b-4-1) (4-13a-6-7)
jihengge	지헝거	(4-16b-2-4)
jiki	지키	(4-19b-5-8)
jin 「漢語瑾」 (gung jin 「公瑾」)	진	(4-2b-2-3) (4-4a-4-2) (4-10b-1-4) (4-11b-6-7) (4-20b-6-5) (4-21b-2-3)
jin 「漢語禁」 (ioi jin 「于禁」)	진	(4-3b-1-7) (4-15b-5-5) (4-17a-5-1)
jing 「漢語敬」	징	

²⁹ 原書の当該箇所では、「자카」ではなく「자가」と記されている。これは誤記であるか、あるいは墨の欠落によるものと考えられる。

³⁰ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

(dzy jing 「子敬」)		(4-1b-3-2) (4-4a-1-4) (4-5a-5-5) (4-10a-6-6) (4-11a-1-2) (4-11a-4-4) (4-11b-6-1) (4-12a-3-1) (4-13b-3-2) (4-13b-6-2) (4-15b-2-7)
jiyai 「漢語玠」 ³¹ (mao jiyai 「毛玠」)	재	(4-3b-1-5) (4-15b-5-3) (4-17a-5-3)
jiyang 「漢語蔣」 (jiyang g'an 「蔣幹」)	장	(4-3a-2-1)
jiyangjiyūn 「漢語將軍」 ³²	장권	(4-1b-1-4) (4-19a-5-2) (4-20a-3-4)
jiyansi 「漢語奸細」	잔시	(4-1a-4-5)
jiyūn 「漢語軍」 (jiyūn jeng sy 「軍政司」)	권	(4-8a-6-5)
jobolon 「憂い；災難；喪」	조보론	(4-3a-5-5) (4-11a-3-2)
jobombi 「苦勞する；憂える」	---	---
joboho	조보호	(4-8b-4-6)
joboro	조보로	(4-15b-3-1)
jugūn 「道」	쥬군	(4-5b-6-3)
jug'oliyang 「漢語諸葛亮」	쥬고량	(4-2a-5-3) (4-2b-2-6) (4-4a-2-1) (4-4a-5-1) (4-20b-4-1) (4-23b-5-3) (4-24a-1-5)
julergi 「南；前」	쥬릴기	(4-17a-5-6)
juleri 「南(に)；前(に)」	쥬리리	(4-5b-4-8) (4-7a-6-4) (4-8b-1-6) (4-9b-2-3)
julesi 「南(に)；前(に)」	쥬리시	(4-13b-6-5)
julgei 「昔の」	쥬게	(4-23a-4-2)
jurambi 「出發する」	---	---
jurandarakū ³³	쥬란다라쿠	(4-13a-4-6)
jurgan 「行；筋；義；部院(中央官庁)」	쥬간	(4-14b-5-4)
juwan 「十」	쥬완	(4-6b-2-6) (4-7a-3-2) (4-7a-5-1) (4-7b-2-2) (4-7b-6-5) (4-10b-4-5) (4-19b-4-1) (4-21a-1-2)
juwe 「二」	쥬위	(4-3b-3-2) (4-7a-6-5) (4-9b-4-1) (4-11b-2-6) (4-13a-1-1) (4-15b-6-1) (4-18b-2-6)
juwebumbi 「運ばせる」	---	---
juwebu	쥬부	(4-9a-3-1)
juwembi 「運ぶ」	쥬비	(4-21b-5-8)

³¹ 『對音輯字』(下巻第38葉a面)では、漢字「玠」に対応する満洲文字は *giyai* である。一方、『三譯総解』における「毛玠」の満洲文字表記は、*mao jiyai* に対応する形で現れている。なお、岸田(1997:179, 182)によれば、『滿文三国志』および『滿漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はそれぞれ *jiyai* と *jiyei* である。

³² 当該語は『増訂清文鑑』では *jiyanggiyūn* と綴られている。『大清全書』には *jiyanggiyūn* と *jiyangjiyūn* の両綴りが収録されている。なお、『大清全書』には *ilhi jiyangciyūn* 「副將軍。」という語も収録されており、*jiyangciyūn* の語形が見られるが、誤記である可能性が高い。

³³ Yang (2025: 73) は動詞語幹 *juran-* を想定し、これに付く未完了連体接辞(原文では *nonpast participle suffix* 「非過去分詞接尾辞」)には *-ndArA* と *-rA* の両形が存在すると述べている。また、Yang (2025: 76) は *jurandara* と *jurara* の清代文献における出現頻度を統計的に示している。

kai 「指定や断定の終助詞」	캐	(4-3a-5-8) (4-4a-5-4) (4-5a-6-4) (4-6b-6-6) (4-7b-3-7) (4-9b-5-2) (4-10a-3-5) (4-10b-3-2) (4-11a-3-3) (4-20a-1-4) (4-20b-3-3) (4-21a-4-7) (4-23a-2-6) (4-24a-1-3)
kaicambi 「叫ぶ」	캐참비	(4-15a-1-1)
kaicara	캐차라	(4-15b-4-7) (4-18a-4-1)
karulambi 「報いる」	---	---
karulaki	카루라키	(4-8b-4-8)
kenehunjembi 「疑う」	---	---
kenehunjeme	커너훈져머	(4-12b-2-2)
kiru 「旗」	키루	(4-13a-1-7)
korsombi 「悔恨する ; 恨む」	---	---
korsome	콜소머	(4-19a-5-5)
kundulembi 「敬う」	---	---
kundulere	쿤두러러	(4-8b-3-3) (4-23a-1-1) ³⁴
kungming 「漢語孔明」	쿵밍	(4-1b-2-2) (4-1b-5-5) (4-1b-6-6) (4-2a-4-5) (4-2b-1-6) (4-3a-1-1) (4-3b-6-1) (4-4a-1-1) (4-4b-6-5) ³⁵ (4-5b-2-1) (4-5b-2-4) (4-5b-4-2) (4-6a-2-5) (4-7a-1-1) (4-7a-6-1) (4-7b-5-4) (4-8a-3-1) (4-8b-1-4) (4-8b-5-1) (4-9a-3-3) (4-10a-5-4) (4-10a-6-2) (4-11a-4-1) (4-13a-2-3) (4-13a-6-9) (4-13b-2-6) (4-13b-5-4) (4-14a-6-1) (4-14b-2-6) (4-14b-4-1) (4-15a-3-1) (4-17b-5-4) (4-18b-1-2) (4-18b-4-4) (4-19a-6-3) (4-20a-3-1) (4-22a-1-1) (4-22a-4-5) (4-22b-1-1) (4-23a-1-3) (4-23b-5-1) (4-24b-3-2) (4-25a-3-4) (4-25a-3-7)
lak (lak seme 「ぴったりと」)	락	(4-21a-2-7)
leolembi 「論じる」	---	---
leoleme	러러머	(4-24b-2-4)
lu 「漢語魯」 (lu su 「魯肅」)	루	(4-1a-6-3) ³⁶ (4-1b-4-4) (4-2a-2-1) (4-2b-1-1) (4-2b-5-2) (4-3b-4-2) (4-4a-6-1) (4-4b-6-1) (4-5a-3-3) (4-9a-5-1) (4-10a-5-1) (4-11a-2-2) (4-12a-4-1) (4-12b-3-1) (4-13a-6-2) (4-13b-2-1) (4-13b-4-1) (4-14a-6-2) (4-15a-1-2) (4-19a-6-4) (4-19b-6-1) (4-21b-3-1) (4-22a-4-3)
majige 「少し」	마지거	(4-19b-3-5)

³⁴ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

³⁵ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

³⁶ 岸田 (1997: 179) によれば、『三譯総解』の [4:1a/b], [4:1b/4], [4:2a/2] などにおける lu su は、『満文三
国志』および『満漢合璧三国志』の対応箇所では、いずれも lusu の語形である。岸田 (1997: 179) のこ
こでの [4:1a/b] は [4:1a/6] の誤記である。

manggi 「～た後」	망기	(4-1a-5-2) (4-5b-3-4) (4-8b-4-4) (4-10a-6-1) (4-13a-6-8) (4-18b-1-1)
mao 「漢語毛」 (mao jiyai 「毛玠」)	만	(4-3b-1-4) (4-15b-5-2) (4-17a-5-2)
mao 「漢語瑁」 (ts'ai mao 「蔡瑁」) ³⁷	만	(4-1a-3-4)
marambi 「遠慮する；拒む； 強く主張する」	---	---
marara	마라라	(4-6b-4-3)
maribumbi 「戻す」	---	---
maribufi	마리부피	(4-17b-6-3) (4-18b-1-6)
mejige 「消息」	머지거	(4-1a-4-3) (4-1b-6-3) ³⁸
meni (meni meni 「各々」)	머니	(4-24b-4-2) (4-24b-4-3)
mentuhun 「愚かな」	먼투훈	(4-6a-6-3)
mimbe 「私を」	뎨뎨	(4-2b-2-7) (4-10b-2-3) (4-11a-1-4) (4-21a-1-1) (4-21a-6-6) (4-21b-2-5)
mingga 「千」 ³⁹	밍가	(4-17a-1-4) (4-19b-2-1)
minggata 「千毎」	밍가타	(4-11b-2-3)
mini 「私の」	미니	(4-9b-1-4) (4-12a-2-3) (4-15b-2-1) (4-21b-1-1)
mocin 「織目が細かくて艶の ある紺布」	모친	(4-11b-1-2) (4-12b-5-6)
monggo 「蒙古」	몽고	(4-23a-5-1)
mudan 「音調；回；湾曲；回 り道」	무단	(4-20b-2-2) ⁴⁰

³⁷ 『三譯総解』および『満漢合璧三国志』に見られる「蔡瑁」の満洲文字表記は、次表のとおりにまとめることができる。表中の『満漢合璧三国志』の範囲は、『三譯総解』に対応する部分に限る。また、表中の「岸田対校表番号」とは、岸田(1997)における『三譯総解』・『満文三国志』・『満漢合璧三国志』対校表の番号を指す。

表3：『三譯総解』・『満漢合璧三国志』における「蔡瑁」の満洲文字表記

	岸田対校表番号	三譯総解	満漢合璧三国志
[1]	---	ts'ai mao (4-1a-3-3/4)	ts'ai mao (10-2a-2-11/-3-1)
[2]	270	ts'ai mao (5-3b-2-2/3)	ts'ai moo (10-14a-3-3/4)
[3]	272	ts'ai mao (5-3b-2-6/7)	ts'ai moo (10-14a-4-2/3)
[4]	284	ts'ai mao (5-5b-4-2/3)	ts'ai moo (10-15a-3-3/4)
[5]	545	ts'ai mao (7-5b-6-4/5)	ts'ai moo (10-36b-6-4/5)

岸田(1997: 187, 189, 254)によれば、『三譯総解』(5-3b-2-2/3), (5-3b-2-6/7), (5-5b-4-2/3), (7-5b-6-4/5) (それぞれ岸田対校表番号 No. 270, No. 272, No. 284, No. 545、上表の [2]~[5] に相当) の ts'ai mao に対応する『満文三国志』・『満漢合璧三国志』の当該箇所における語形はいずれも ts'ai moo である。また、岸田(1997: 90)によれば、『満文三国志』も、(10-2a-2) (上表の [1] に相当) では、ts'ai mao の形に作る。

³⁸ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

³⁹ 当該語は『増訂清文鑑』では minggan と綴られている。一方、『大清全書』では mingga と綴られている。『三譯総解』の当該箇所では、mingga の形で現れている。なお、岸田(1997: 182, 183)によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はいずれも minggan である。

⁴⁰ 当該箇所の mudan は、『三譯総解(第四)』原書において cooha i mudan に出現している。原書における cooha i mudan の朝鮮語訳は「군사의세」である。現代語では「군사의 세」であり、「軍勢」を意味する。また、『満漢合璧三国志』の対応箇所における漢語は「兵勢」である。

mujakū 「甚だ」	무자쿠	(4-24a-4-1)
mukdembī 「興る ; 高く昇る」	---	---
mukdefi	묵더피	(4-18a-6-5)
muke 「水」	무케	(4-3b-3-6) (4-5b-6-1) (4-14b-3-4) (4-19a-1-7) (4-24a-3-5)
mukei 「水の」	무케	(4-15b-4-1) (4-16a-1-4) (4-16b-4-2) (4-17a-6-2) (4-18a-1-2)
muse 「私たち(包括的)」	무셔	(4-15a-6-2)
mutebumbi 「実現させる」	---	---
muteburakū	무터부라쿠	(4-6b-6-3)
mutembi 「できる」	---	---
mutehekū	무터허쿠	(4-3b-5-1)
muterakū	무터라쿠	(4-12a-2-6)
na 「地」	나	(4-20a-5-1)
nasambi 「嘆息する」	---	---
nasaha	나사하	(4-19a-4-7) (4-19a-5-6)
ni 「疑問・感動の終助詞」	니	(4-3b-1-1)
ni 「の ; で」	니	(4-1b-5-6) (4-3a-5-2) (4-6a-5-6) (4-8b-1-5) (4-10b-1-1) (4-11b-3-6) (4-13a-2-4) (4-13b-3-3) (4-14b-2-7) (4-14b-3-6) (4-15b-4-3) (4-16a-2-7) (4-17a-5-5) (4-18a-1-4) (4-19b-3-1) (4-21b-5-1) (4-22a-4-6) (4-22b-1-2) (4-22b-3-2) (4-23b-4-1) (4-23b-6-4)
ninggude 「上に/で」	닝구더	(4-13a-1-5)
niyalma 「人」	날마	(4-3b-3-3) (4-4b-3-6) (4-6b-5-2) (4-9a-2-4) (4-9a-5-5) (4-11a-6-6) (4-12b-5-3) (4-17a-1-8) (4-17b-4-5) (4-18b-5-1) (4-20a-1-3) (4-20a-4-1) (4-22b-3-4) (4-23b-5-7)
nofi 「人の助数詞」	노피	(4-15b-6-2) ⁴¹
nu 「漢語弩」	누	(4-6a-3-6) (4-16b-4-5) (4-17a-1-5) (4-17b-1-3) (4-17b-4-2)
nungnembī 「侵害する ; 騒がす」	눔넘비	(4-4a-5-3) (4-10b-2-4)
nungneci	눔너치	(4-21b-2-6)
nure 「酒(粟や黍などを原料として醸造した酒)」	누러	(4-8b-3-1) (4-9a-4-2) (4-15a-6-3) (4-23a-6-2)
obumbi 「する」	오븀비	(4-6a-4-2)
obufi	오부피	(4-18a-1-1)
ogo 「脇の下」 ⁴²	오고	(4-9b-4-2)
okdombi 「迎える」	---	---
okdofi	옥도피	(4-22b-6-4)

⁴¹ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

⁴² 当該語は『増訂清文鑑』では oho と綴られている。見出し語 oho 「脇窩」を参照されたい。

okdome	옥도머	(4-2a-1-1)
olhombi 「乾く ; 恐れる」	---	---
olhome	올호머	(4-15a-5-4) (4-17a-6-8)
olhon 「乾いた」	올혼	(4-16b-6-2)
ombi 「なる」	옴비	(4-1b-2-1) (4-2b-5-1) (4-3a-5-7) (4-10a-3-4) (4-11a-3-6) (4-12a-2-7) (4-21b-2-7)
oci	오치	(4-8a-5-2) (4-20b-2-5)
ofi	오피	(4-6b-6-2) (4-16a-2-3) (4-19a-2-1)
oho	오호	(4-10b-4-1) (4-19a-2-6) (4-20a-3-5)
ohode	오호더	(4-3a-4-3) (4-10a-1-2) (4-10b-5-6)
ojorahū	오조라후	(4-6b-6-4)
ojorakū	오조라쿠	(4-1b-2-5) (4-8a-2-5) (4-9b-5-1) (4-16b-3-5) (4-24b-1-8)
ojoro	오조로	(4-11a-2-1) (4-24b-1-7) (4-24b-5-6) (4-24b-6-2)
omimbi 「飲む」	---	---
omifi	오미피	(4-9a-4-3)
omime	오미머	(4-15a-6-4)
omire	오미러	(4-23a-6-3)
onggolo 「～前に」	옹고로	(4-17a-4-5) (4-20b-4-4)
orho 「草」	올호	(4-11b-2-5) (4-12b-6-3) (4-18b-3-1)
orin 「二十」	오린	(4-11a-5-3) (4-12b-3-5) (4-14a-2-1) (4-18b-2-2) (4-19a-2-2)
oyonggo 「重要な」	오용고	(4-6a-4-1)
sa 「～たち」	사	(4-19a-5-3)
sabumbi 「見る」	사븨비	(4-14a-1-3)
saburakū	사부라쿠	(4-14a-5-4)
sain 「良い」	샌	(4-16b-3-2)
saisa 「賢者」	새사	(4-24a-1-2)
sambi 「知る」	삼비	(4-4a-3-3) (4-5a-6-3)
saha	사하	(4-2b-6-6) (4-20a-2-7)
sahabi	사하비	(4-24a-6-4) ⁴³
sambio	삼빈	(4-1b-4-2) (4-2b-3-1)
sarkū	살쿠	(4-20a-6-5) (4-24b-2-1)
sarkūn	살쿤	(4-1b-4-3) (4-2b-3-2)
sartabumbi 「遅延させる ; 憂を解く」	살타븨비	(4-7b-3-6) (4-10a-1-4) (4-21a-4-6)
sasa 「一緒に」	사사	(4-15a-2-4)
sebjelembi 「楽しむ」	---	---
sebjeleki	섭져러키	(4-15a-6-5)
sefu 「教師(漢語師傅)」	스푸	(4-22b-6-5)

⁴³ 『三譯總解』(4-24a-6-4)の sahabi に対応する原書での朝鮮語訳は「알리니」である。一方、『滿漢合璧三國志』の対応箇所における sahabi は、漢語の「觀」に対応している。

sejilembi 「嘆く」	---	---
sejileme	서지러머	(4-22a-6-5)
sembi 「言う」	슴비	(4-6b-3-6) (4-6b-6-5) (4-10b-6-7) (4-12b-1-2) (4-13b-3-9) (4-23a-3-1)
seci	스치	(4-23b-6-2)
sefi	스피	(4-4a-6-4) (4-9a-3-2) (4-12a-4-4) (4-14a-1-4) (4-16b-5-5) (4-23a-4-10)
sehe	스허	(4-10b-2-5) (4-21a-1-6) (4-22b-2-5) (4-23a-4-7)
shengge	스형거	(4-21a-6-8)
seme	스머	(4-2b-3-3) (4-4a-3-4) (4-6a-6-2) (4-9b-4-6) (4-11b-3-2) (4-14b-1-4) (4-17a-3-4) (4-17a-6-7) (4-18b-5-7) (4-19a-6-1) (4-21a-3-1) (4-21b-6-1) (4-23a-4-8) (4-23b-2-1) (4-25a-1-6)
semeo	스몐	(4-9a-5-7)
sere	스리	(4-3b-2-2) (4-3b-6-4) (4-13b-1-4)
serengge	스렁거	(4-5a-4-4)
seng 「漢語生」 (siyan seng 「先生」)	승	(4-2b-6-3) (4-6a-2-2) (4-6a-5-5) (4-6b-2-3) (4-7b-4-5) (4-19b-6-5) (4-23b-3-8) (4-24a-5-4) (4-24b-2-3)

sesulembi 「驚く」	---	---
sesulefi ⁴⁴	서수러피	(4-22a-6-4)
si 「あなた」	시	(4-1b-3-3) (4-10a-4-1)
sidende 「間に」	시던더	(4-19a-1-4)
sikse 「昨日」	식서	(4-23b-1-2)
simbe 「あなたを」	심버	(4-2b-2-4)
sindambi 「置く ; 放つ」	---	---
sindafi	신다피	(4-12b-5-4)
sindahabi	신다하비	(4-3b-2-1)
sini 「あなたの」	시니	(4-11a-2-5)
sioi 「漢語徐」 (sioi hūwang 「徐晃」)	쑤	(4-16b-6-6)
sirdan 「矢」	실단	(4-6b-1-5) (4-6b-3-1) (4-7a-3-4) (4-7b-6-7) (4-9a-1-1) (4-9a-2-7) (4-10b-5-1) (4-10b-5-4) (4-11b-6-3) (4-13b-3-7) (4-13b-5-1) (4-

⁴⁴ 『三譯総解』(4-22a-6-4)には sesulefi という語形が出現しているが、岸田(1997)によれば、『満文三国志』と『満漢合璧三国志』の対応箇所における語形がいずれも sesulafi であり(岸田 1997: 184)、当該動詞語基は『増訂清文鑑』・『同文類解』・『大清全書』・『満漢同文全書』において、それぞれ sesula-, sesule-, sesule-, sesula~sesule- という形式をとる(岸田 1997: 88)。

筆者の確認によれば、清学書のうち『八歳児』・『小児論』・『清語老乞大』には当該語基は見当たらない。一方、『三譯総解』(4-22a-6-4)では sesulefi 「서수러피」、『同文類解』(1-20b-5-3)では「서수[람]비」(sefulembi)、『漢清文鑑』(7-8a-5-1)では sesulambi 「서수람비」が確認できる。各種清文鑑においては、康熙期の『清文鑑』および乾隆期の『増訂清文鑑』に sesulambi が見られ、乾隆期の『五体清文鑑』には複数のバージョンが存在し、当該語を sesulembi と綴るバージョンと sesulambi と綴るバージョンの両方が確認される。また、『大清全書』では語基 sesule- が、sesulembi-ha 「驚訝」、doshon hese be sesuleme donjiha jalin 「爲驚聞寵命等事」、sesulebumbi 「使之驚駭。」に現れる。さらに、『満漢同文全書』第4巻には sesulembi 「驚く」と sesulabumbi 「驚かす」が収録されており、それぞれの語基は sesule- と sesula- である。なお、『三譯総解』(4-22a-6-4)の sesulefi は、筆者が参照した『満漢合璧三国志』の対応箇所(10-11b-4-8)では、岸田が指摘したとおりの sesulafi という形式をとる。筆者が参照した上記の文献に見られる sesule-~sesula- の形式は、次表のとおり整理できる。なお、次表における『満漢合璧三国志』の範囲は、『三譯総解』に対応する部分に限る。

表4: sesule-~sesula- の出現例

	大清全書			満漢同文全書	清文鑑	増訂清文鑑	五体清文鑑	漢清文鑑	同文類解	三譯総解	満漢合璧三国志
sesula-											
sesule-											

		14a-1-1) (4-18a-2-4) (4-18a-5-2) (4-18b-3-3) (4-18b-5-4) (4-19b-1-6) ⁴⁵ (4-19b-4-4) (4-19b-5-1) (4-21b-5-7) (4-22a-1-4) (4-22a-3-1) (4-22b-4-1) ⁴⁶ (4-22b-4-5)
sisimbi 「挿す」	---	---
sisifi	시시피	(4-13a-2-1)
siyan 「漢語先」 (siyan seng 「先生」)	산	(4-2b-6-2) (4-6a-2-1) (4-6a-5-4) (4-6b-2-2) (4-7b-4-4) (4-19b-6-4) (4-23b-3-7) (4-24a-5-3) (4-24b-2-2)
solinambi 「招きに行く」	---	---
solinaha	소리나하	(4-5b-2-3)
sonjombi 「選ぶ」	---	---
sonjofi	손쥬피	(4-12b-4-3)
su 「漢語肅」 (lu su 「魯肅」)	수	(4-1a-6-4) (4-1b-4-5) (4-2a-2-2) (4-2b-1-2) (4-2b-5-3) (4-3b-4-3) (4-4a-6-2) (4-4b-6-2) (4-5a-4-1) (4-9a-5-2) (4-10a-5-2) (4-11a-2-3) (4-12a-4-2) (4-12b-3-2) (4-13a-6-3) (4-13b-2-2) (4-13b-4-2) (4-14a-6-3) (4-15a-1-3) (4-19a-6-5) (4-19b-6-2) (4-21b-3-2) (4-22a-4-4)
sun 「漢語孫」 (sun dzy 「孫子」)	순	(4-23a-4-3)
sunja 「五」	순자	(4-19b-1-8) (4-21b-5-4)
sunjaci 「第五」	순자치	(4-14b-2-3)
suwaliyabumbi 「掛かり合いになる」	쉬라뵈비	(4-12a-3-3)
sy 「漢語司」 (jiyūn jeng sy 「軍政司」)	스	(4-8a-6-7)
šanggambi 「成就する、完成する；奏樂が終わる」	상감비	(4-7b-5-3)
šun 「太陽」	순	(4-18a-6-1)
tacibumbi 「教える」	---	---
tacibure	타치부러	(4-2a-4-2) (4-6a-2-3) (4-23b-4-2)
tafambi 「登る」	---	---
tafa	타파	(4-13b-1-3)
tafulambi 「諫める」	---	---
tafulame	타푸라머	(4-4b-6-3)
taka 「暫く」	타카	(4-11b-6-5) (4-16b-4-1) (4-24b-3-5)
takūrambi 「遣わす」	---	---
takūrafi	타쿠라피	(4-2b-2-5) (4-9a-2-6)

⁴⁵ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

⁴⁶ 原書の当該箇所における満洲語文語の満洲文字表記とハングル表記のいずれも、印刷が不鮮明である。

takūraha	타쿠라하	(4-17a-3-5)
takūrahabi	타쿠라하비	(4-23b-2-2)
talmambi 「霧がかかる」	---	---
talmafi	탈마피	(4-14a-5-2)
talmakabi	탈마카비	(4-16a-6-1)
talman 「霧」	탈만	(4-14a-5-1) (4-15a-5-2) (4-15b-1-1) (4-16a-5-6) (4-18a-3-1) (4-18a-6-6) (4-20a-2-5) (4-20b-3-7)
tanggū 「百」	탕구	(4-21b-5-5)
tašan 「嘘、偽り」	타산	(4-10a-4-6)
te 「今」	터	(4-6b-1-1) (4-24a-5-2)
tebumbi 「座らせる；住ませる；職に就かせる；駐屯させる；盛る；植える；納棺する；酒を作る」	---	---
tebufi	터부피	(4-12b-6-5)
tede 「そ/あの人に；そ/あの所に」	터더	(4-9b-3-4) (4-10a-2-5) (4-16b-1-2)
teisu 「相応；本分；向かい合い」	테수	(4-16a-4-1) (4-16a-4-2)
teksin 「齊しい」	텍신	(4-16b-3-1)
tembi 「座る；住む；職に就く；駐屯する；沈殿する；水が溜まる」	---	---
tefi	터피	(4-4a-6-8) (4-14a-6-8)
tehe	터허	(4-2a-1-6) (4-5b-3-3)
tere 「その；それ；その人；あの；あれ；あの人」	터리	(4-4b-1-5) (4-5a-2-6) (4-9a-6-4) ⁴⁷ (4-10a-2-1) (4-10a-4-3) (4-10b-2-1) (4-13a-3-5) (4-14a-4-1) (4-14b-2-1) (4-16a-1-2) (4-16b-2-1)
tereci 「それ/あれ/その人/あの人より；それから；さて；やがて」	터리치	(4-1a-2-1) (4-15b-3-2)
terei 「そ/あの人；その」	터레	(4-12a-5-1) (4-12b-2-3) (4-24a-5-6)
tetendere 「～からには」	터턴드러	(4-15b-2-5)
tob 「正しい；正に」	툽	(4-6a-6-1)
tofohon 「十五」	토포혼	(4-22b-4-6)
tokdombi 「決定する」	---	---
tokdoho ⁴⁸	톡도호	(4-4b-5-5)
tolombi 「数える」	---	---
toloci	토로치	(4-22a-1-7)
tome 「～毎に」	토머	(4-11b-2-2) (4-12b-5-1) (4-19b-1-5)

⁴⁷ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

⁴⁸ tokdo- という語基形については、王海波 (2026c: 33) を参照されたい。

tondo 「まっすぐな ; 公平な ; 忠誠な」	톤도	(4-5a-4-3)
tondoi 「公平に」	톤되	(4-5a-2-3)
tookabumbi 「遅延させる」	---	---
tookabume	토카부머	(4-3b-5-5)
ts'ai 「漢語蔡」 (ts'ai mao 「蔡瑁」)	채	(4-1a-3-3)
ts'oots'oo 「漢語曹操」	초초	(4-1a-2-6) (4-3a-3-1) (4-4b-6-9) (4-7b-1-4) (4-14b-3-2) (4-15a-2-1) (4-15a-4-2) (4-15b-3-3) (4-15b-6-4) (4-16a-1-1) (4-17a-4-1) (4-19a-1-1) (4-19a-4-1) (4-22b-4-3) (4-23b-1-5)
tu 「纛(大旗、軍旗)」	투	(4-13a-1-6)
tucibumbi 「出す」	---	---
tucibufi	투치부피	(4-17b-4-7) (4-18b-5-2)
tucibuhekū	투치부허쿠	(4-19b-3-7)
tucimbi 「出る」	---	---
tucifi	투치피	(4-22b-6-3)
tucike	투치키	(4-15a-2-5)
tucirakū	투치라쿠	(4-15a-6-1)
tumen 「万」	투먼	(4-4a-1-6) (4-6b-2-7) (4-7a-3-3) (4-7b-6-6) (4-10b-4-6) (4-17b-3-5) (4-19b-4-2) (4-22a-2-2) (4-22b-3-6) (4-22b-5-1)
tungken 「太鼓」	통켄	(4-14b-6-4) (4-15b-4-5) (4-18a-3-5)
turgun 「原因、理由」	톨군	(4-20a-6-3)
tuttu 「そのように ; あのよう に」	툏투	(4-3a-4-2) (4-20b-5-1)
tuwambi 「見る」	---	---
tuwa	투와	(4-1b-4-1) (4-11b-6-4) (4-24b-3-1)
tuwaci	투와치	(4-18b-2-1) (4-21b-4-4) (4-24a-3-9)
tuwafi	투와피	(4-10a-4-8)
tuwaki	투와키	(4-24b-6-4)
tuwame	투와머	(4-6b-3-3)
tuwarakū	투와라쿠	(4-20b-1-4)
u 「漢語呉」 (u dzy 「呉子」) (u heo 「呉侯」)	우	(4-23a-4-5) (4-23b-1-3)
ubade 「ここに/で」	우바더	(4-15b-2-3)
udu 「幾つ ; いくら~(だと て)」	우두	(4-7b-5-1) (4-9a-3-4) (4-9b-3-5) (4-15a-4-3) (4-21a-3-3) (4-23a-4-1)
ufarambi 「失う ; 損する ; 失 策する」	---	---
ufaraha	우파라하	(4-2a-3-4)
uju 「頭 ; 第一」	우쥬	(4-14b-4-4) (4-17b-6-4)

ulhibumbi 「悟らせる」	---	---
ulhibure	울히부러	(4-12a-1-1)
ulhimbi 「悟る、理解する」	---	---
ulhihekū	울히허쿠	(4-12b-2-6)
ulhirakū	울히라쿠	(4-20a-5-5)
ulhiyen 「漸次」	울현	(4-18a-6-2) (4-18a-6-3)
umai 「全く(～でない)」	우매	(4-3b-4-4)
ume 「否定命令標識」	우머	(4-4a-3-5) (4-5a-5-6) (4-6b-4-2) (4-10b-1-6) (4-11b-6-9) (4-13b-6-3) (4-15b-2-8) (4-24b-3-6)
umesi 「甚だ」	우머시	(4-18b-4-2)
uncehen 「尾」	운쳐헌	(4-14b-5-1) (4-17b-6-6)
unde 「まだ～していない」	운더	(4-2a-6-3) (4-16a-2-2)
unenggi 「誠；事実；誠実な；本当の」	우녕기	(4-20a-1-1)
urembi 「果物が熟する；飯が調理済みである；熟練する」	---	---
urehebi	우리허비	(4-7a-2-3)
urgun 「喜び」	울근	(4-2a-5-7) (4-2b-1-5) (4-2b-4-5) (4-3a-6-2)
urgunjembi 「喜ぶ」	---	---
urgunjeme	울근져머	(4-1a-6-2) (4-5b-3-1) (4-6a-5-2) (4-8a-6-4) (4-25a-1-2)
urse 「衆人」	울서	(4-17b-1-6)
urunakū 「必ず」	우루나쿠	(4-3a-3-2) (4-3b-3-9) (4-4a-4-6) (4-10a-1-3) ⁴⁹ (4-10b-2-2) (4-10b-6-1) (4-16b-1-3)
ushacun 「恨み」	웃하춘	(4-5a-3-1)
uthai 「すぐに；即ち」	uhn해	(4-2b-4-4) (4-8b-6-7) (4-13b-6-8) (4-15b-1-3)
uttu 「このように」	운투	(4-20a-2-3)
uyun 「九」	우윤	(4-22a-2-1) (4-22b-3-5)
wacihiyambi 「完成する」	---	---
wacihiya	와치하	(4-21a-1-5)
wajimbi 「終わる」	---	---
wajifi	와지피	(4-16a-4-5)
wajiha	와지하	(4-8b-4-3)
wajirakū	와지라쿠	(4-19a-6-2)
wajireo	와지료	(4-7a-5-5)
waka 「～ではない；非」	와카	(4-3a-3-5) (4-9b-1-6) (4-24a-5-1)
wakalambi 「咎める」	---	---
wakalame	와카라머	(4-19a-4-6)
wambi 「殺す」	---	---

⁴⁹ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

waha	와하	(4-1a-4-2) (4-4b-6-7) (4-5a-2-4)
waki	와키	(4-21a-6-7)
wara	와라	(4-4b-5-2)
wasihūn 「西に；下に」	와시훈	(4-14b-4-5) (4-17b-6-7)
weihukelembi 「軽んじる」	---	---
weihukeleme	웨후커러머	(4-16b-3-3)
weihuken 「軽い」	웨후컨	(4-12b-3-6) (4-19a-1-6)
weile 「罪；事」	웨리	(4-2b-4-2) ⁵⁰ (4-4a-3-1) (4-4b-1-6) (4-7b-3-5) (4-10a-2-3) (4-12a-1-3) (4-21a-4-4)
	웨리 ⁵¹	(4-7a-2-1)
wesihun 「上に；東に；高貴な」	위시훈	(4-14b-5-2) (4-17b-6-5)
yabumbi 「行く、歩く；行う」	---	---
yabu	야부	(4-14b-1-3)
yala 「誠に、果たして」	야라	(4-10b-3-4)
yamji 「晩」	암지	(4-7b-1-2)
yamun 「衙門、役所、官庁」	야문	(4-21a-3-4)
yang 「漢語陽」 (in yang 「陰陽」)	양	(4-20a-6-7)
yargiyan 「本当の」	얄간	(4-10a-4-5) (4-10b-3-5) (4-21a-6-4)
yasa 「目」	야사	(4-5b-4-6)
yasai 「目の」	야새	(4-7a-6-3)
yaya 「すべての、諸々の」	야야	(4-20a-3-3)
yuwan 「すずり(漢語硯)」	완	(4-25a-1-4) (4-25a-3-2)
yūn 「漢語允」 ⁵² (jang yūn 「張允」)	윈	(4-1a-3-6)

⁵⁰ 原書の当該箇所では印刷が不鮮明なため、「웨리」が「웨리」のように見えるが、本来は「웨리」と書かれていたものと考えられる。

⁵¹ 原書の当該箇所では、「웨리」ではなく「웨리」と記されている。これは誤記であるか、あるいは墨の欠落によるものと考えられる。

⁵² 『對音輯字』(上巻第43葉a面)では、漢字「允」に対応する満洲文字は yūn である。『三譯総解』における「允」は計10例出現している。「張允」における「允」は2例(第四巻および第七巻に各1例)出現しており、いずれも満洲文字表記では yūn、ハングル表記では「윈」の語形をとる。一方、「王允」における「允」は8例(いずれも第一巻に)出現しており、いずれも yun 満洲文字表記では yun、ハングル表記では「운」の語形をとる。

3. 正誤表

次表は、王海波（2026a）『『三譯総解（第一）』ハングル表記満洲語文語索引』の正誤表である。

表 5：『『三譯総解（第一）』ハングル表記満洲語文語索引』の正誤表

訂正箇所	訂正内容	
	誤	正
8 頁 / cenghiyang の項目	(1-1b-6-6)が重複して記載されている。	2 回目の記載を削除する。
9 頁 / diyocan の項目	(1-2a-2-2)が重複して記載されている。	2 回目の記載を削除する。
13 頁 / gaijara の項目	gaijara の掲載位置が誤っている。	gaijara の行を gaiki の直前に移動する。
13 頁 / 脚注 27 第 3 段落の 1 行目	上表	次表
15 頁 / gūnire の項目	근니라	구니라
15 頁 / gūnin の項目	근닌	구닌
18 頁 / jenderakū の項目	전더라쿠	전더라쿠
26 頁 / u の項目	수	슈
26 頁 / 脚注 54 の 2 行目	「메 수」 (mei žu)	「메 슈」 (mei žyu)
28 頁 / žu の項目	수	슈
参考文献欄	本文中で言及された和田（2013）が参考文献欄に未掲載である。	和田（2013）を追加する。文献の詳細は本稿の参考文献欄を参照されたい。

次表は、王海波（2026b）『『三譯総解（第二）』ハングル表記満洲語文語索引』の正誤表である。

表 6：『『三譯総解（第二）』ハングル表記満洲語文語索引』の正誤表

訂正箇所	訂正内容	
	誤	正
36 頁 / 下から 2 行目	bayatur	bayatur
47 頁 / habšaha の項目	합상하	합사하
48 頁 / hecen の項目	허전	허천
参考文献欄	本文中で言及された和田（2013）が参考文献欄に未掲載である。	和田（2013）を追加する。文献の詳細は本稿の参考文献欄を参照されたい。

参考文献

<日本語文献>

- 池上二良 (1951) 「滿洲語の諺文文献に関する一報告」『東洋學報』33(2): 97-118.
- 池上二良 (1954) 「滿洲語の諺文文献に関する一報告 (承前)」『東洋學報』36(4): 57-74.
- 池上二良 (1955) 「トゥングース語」市河三喜・服部四郎 (編)『世界言語概説 (下巻)』441-488. 東京: 研究社.
- 池上二良 (1963) 「ふたたび滿洲語の諺文文献について」『朝鮮學報』26: 94-100.
- 今西春秋 (1958) 「漢清文鑑解説」『朝鮮學報』12: 21-58.
- 氏岡真士 (2025) 『『清字水滸伝』笱記 (至第五十回)』『信州大学人文科学論集』12(2): 87-125.
- 王海波 (2026a) 『『三譯総解 (第一)』ハングル表記滿洲語文語索引』『KOTONOHA』278: 1-30.
- 王海波 (2026b) 『『三譯総解 (第二)』ハングル表記滿洲語文語索引』『KOTONOHA』278: 31-66.
- 王海波 (2026c) 『『三譯総解 (第三)』ハングル表記滿洲語文語索引』『KOTONOHA』279: 1-36.
- 小倉進平 (1914a) 「朝鮮に於ける日漢滿蒙語辭書」『朝鮮及滿洲』83: 40-46.
- 小倉進平 (1914b) 「朝鮮に於ける日・漢・滿・蒙語讀本」『東洋學報』4(2): 244-266.
- 河内良弘 (1989) 「崇徳二年正月分滿文档案譯註」『京都大學文學部研究紀要』28: 1-68.
- 菅野裕臣 (2005) 「朝鮮司訳院の清學書のハングル対音の性格について」『韓国語学年報』1: 1-8.
- 岸田文隆 (1989) 「清學書に現れた滿洲語ハングル表記について: 特に滿洲字 e に対する 2 通りのハングル表記をめぐって」『言語学研究』8: 17-38.
- 岸田文隆 (1997) 『『三譯總解』の滿文にあらわれた特殊語形の来源』東京: 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 田村實造・今西春秋・佐藤長 (1966-1968) 『五體清文鑑譯解』京都: 京都大學文學部内陸アジア研究所.
- 羽田亨 (1937) 『滿和辭典』京都: 京都帝國大學滿蒙古調査會.
- 早田輝洋 (1993) 「滿洲語文語における「取りに (連れに) 来る」を意味する動詞について: 『滿文金瓶梅』を資料として」『文學研究』90: 89-130.
- 福田昆之 (2008) 『増訂滿洲語文語辭典』横浜: FLL.
- 和田景子 (2013) 『『漢清文鑑』における滿洲語のハングル表記: 特に滿洲語の文字連続 CVwV を中心に』寺村政男 (編)『大東文化大学日本語学科 20 周年記念論文集』244-255. 東京: 大東文化大学日本語学科.

<韓国語文献>

- 성백인(1984) 「譯學書에 나타난 訓民正音 使用: 司譯院 清學書의 만주어 한글 표기에 대하여」『한국문화』5: 21-63.
- 邵磊(2011) 「『漢清文鑑』을 통해 본 滿文의 한글表記法」『中韓文化關係國際學術會議論文集』290-308.

<中国語文献>

- 崔宰宇 (1997) 『『漢清文鑑』的編排體例和語音轉寫』『中央民族大學學報 (社會科學版)』1997(3): 82-89.
- 邵磊 (2016) 「清-朝鮮時期漢・滿・韓互譯中的文字對音: 以『漢清文鑑』滿文的韓文表記法為例」『編譯論叢』9(2): 57-92.

- 邵磊・多麗梅 (2022) 「海外中國典籍的多語轉寫研究：以『清語老乞大』漢語-滿文的朝鮮文轉寫為例」『東方語言學』2022(2): 17-25.
- 邵磊・多麗梅 (2023) 「『三譯總解』滿文的朝鮮文轉寫研究」『滿學研究』2023: 195-204.
- 邵磊・金龍軍 (2022) 「清代滿朝對音文獻中的特殊轉寫：以滿文-w 系復元音的朝鮮文轉寫為中心」『民族翻譯』2022(4): 77-86.
- 邵磊・林茶英 (2022) 「論朝鮮清學書滿朝對音中的音節對稱與不對稱」『滿語研究』2022(2): 69-74.
- 邵磊・任國俊 (2023) 「清學書中的朝鮮文『圈點字』研究」『民族翻譯』2023(3): 78-88.
- 邵磊・王敵非 (2022) 「『清語老乞大』滿文的朝鮮文轉寫研究」『滿族研究』2022(2): 89-95.
- 王敵非 (2013) 「『清語老乞大』滿朝對音研究」『黑龍江民族叢刊』2013(6): 155-158.

<英語・ドイツ語文献>

- Ikegami, Jiro. (1990) Significance of Korean materials in the study of Manchu. *Altai Hakpo*. 2: 71-77.
- Lie, Hiu. (1972) *Die Mandschu-Sprachkunde in Korea*. Bloomington: Indiana University.
- Yang, Jaeyeong. (2025) *Diachronic Morphology of Consonantal Stems in Jurchen and Manchu*. Ph.D. dissertation, Seoul National University.

An Index to the Written Manchu Words Transcribed in Hangul in the Fourth Volume of *Sam-yŏk Ch'ong-hae*

Haibo WANG
(Lingnan Normal University)

Keywords: *Sam-yŏk Ch'ong-hae*, Hangul Transcription, Written Manchu

Sam-yŏk Ch'ong-hae is one of the books compiled by the Bureau of Interpreters during the Joseon Dynasty in Korea. In this work, Written Manchu words were recorded in both the Manchu script and the Hangul transcription. Notably, the Hangul transcriptions do not always correspond directly to their Manchu script counterparts, suggesting that they may reflect phonetic nuances not fully represented in the Manchu script. This paper presents a Möllendorff-transcription-based index of Written Manchu words found in the fourth volume of *Sam-yŏk Ch'ong-hae*. By aligning the Hangul transcriptions with their equivalents in the Manchu script (represented in Möllendorff transcription), the index serves as a practical reference for exploring script correspondences and phonological details of Written Manchu.

(おう・かいは boljon@163.com)